

2019年3月期第2四半期累計 決算概要

売上収益 1,444億円 (前年同期比 +18.9%)

売上収益の内訳

	2017年度上期	2018年度上期	増減率
製品商品売上	974億円	1,050億円	+7.9%
ロイヤルティ・その他 (内、オプジーボ)	241億円 (180億円)	394億円 (281億円)	+63.3% (+56.5%)
合計	1,214億円	1,444億円	+18.9%

売上収益 1,444億円 (前年同期比 +18.9%)

主要製品の販売状況(1)

	2017年度上期	2018年度上期	増減率
オプジーボ点滴静注	406億円	454億円	+11.9%
グラクティブ錠	137億円	137億円	+0.1%
オレンシア皮下注	68億円	86億円	+26.8%
フォーシーガ錠	53億円	70億円	+33.1%
イメンド/プロイメンド	50億円	53億円	+6.6%
リバスタッチパッチ	45億円	45億円	+1.4%
カイプロリス点滴静注用	27億円	26億円	-4.6%
パーサビブ静注透析用	14億円	27億円	+98.8%
オノアクト点滴静注用	27億円	22億円	-19.6%
ステーブラ錠	21億円	19億円	-9.0%

売上収益 1,444億円 (前年同期比 +18.9%)

主要製品の販売状況(2)

	2017年度上期	2018年度上期	増減率
オパルモン錠	75億円	55億円	-26.8%
リカルボン錠	54億円	44億円	-19.0%
オノンカプセル	24億円	19億円	-19.7%
オンドライシロップ	15億円	12億円	-19.2%

営業利益 352億円 (前年同期比 +31.2%)

	(増減率)
・売上原価	416億円 (+36.5%)
・研究開発費	330億円 (+5.2%)①
・販売費及び一般管理費	342億円 (+5.0%)②
①+② 合計	673億円 (+5.1%)
・その他の収益	5億円 (+59.9%)
・その他の費用	9億円 (+81.7%)

税引前四半期利益 369億円 (前年同期比 +30.0%)

金融収支

+18億円 (前年同期比 2億円増)

金融収益：**18億円**
(受取利息配当金など)

金融費用：**0億円**
(利息費用：リース債務、退職給付など)

四半期利益 288億円 (前年同期比 +36.0%)
(親会社所有者帰属分)

法人税等 80億円 (前年同期比 +13.1%)

(主な変動要因)

税引前利益の増加(85億円)

2019年3月期 通期 業績予想

売上収益 2,800億円 (前期比 6.9%)

売上収益の内訳(2018年度売上見込と昨年度実績)

	2017年度	2018年度予想	増減率
製品売上	2,059億円	2,060億円	+0.0%
ロイヤルティ・その他	559億円	740億円	+32.3%
合計	2,618億円	2,800億円	+6.9%

売上収益 2,800億円(前期比 6.9%)

2018年度売上見込と昨年度実績

	2017年度実績	2018年度予想	増減率
オプジーボ点滴静注	901億円	900億円	-0.1%
グラクティブ錠	274億円	260億円	-5.1%
オレンシア皮下注	141億円	170億円	+20.3%
フォーシーガ錠	111億円	145億円	+31.0%
イメンド／プロイメンド	99億円	105億円	+5.5%
リバスタッチパッチ	89億円	90億円	+1.3%
カiproリス点滴静注用	55億円	65億円	+17.4%
パーサビブ静注透析用	34億円	55億円	+60.4%
オノアクト点滴静注用	56億円	40億円	-28.8%
ステーブラ錠	41億円	35億円	-15.3%

売上収益 2,800億円 (前期比 6.9%)

2018年度売上見込と昨年度実績

	2017年度実績	2018年度予想	増減率
オパルモン錠	144億円	105億円	-26.9%
リカルボン錠	109億円	75億円	-31.3%
オノンカプセル	55億円	45億円	-17.6%
オノンドライシロップ	33億円	25億円	-25.0%

営業利益 635億円 (前期比 +4.6%)

	(前期比)
・売上原価	770億円 (+17.8%)
・研究開発費	700億円 (+1.7%) ①
・販売費及び一般管理費	690億円 (+1.4%) ②
①+② 合計	1,390億円 (+1.6%)
・その他の収益	10億円 (-69.3%)
・その他の費用	15億円 (-29.9%)

税引前当期利益 670億円 (前期比+4.8%)

金融収支

+35億円 (前期比+8.0%)

金融収益 : 36億円

金融費用 : 1億円

当期利益 **520億円** (前期比 +3.4%)
(親会社所有者帰属分)

法人税等 **149億円**
(前期比 +10.2%)

(主な変動要因)

税引前利益の増加 **31億円**

法人税等の増加 **14億円**

各種税額控除

今後の財務方針に関して

◆政策保有株式に関する方針

- 今後、資本効率の更なる向上やコーポレート・ガバナンス・コードを巡る環境の変化に鑑み、取引関係や保有に伴う便益、リスク等を総合的に勘案した上で、対話により投資先企業の理解を得つつ、縮減を進めてまいります。
 - － 今後3年間で、2018年3月末(111銘柄、1,671億円)に対して、約30%相当の政策保有株式を縮減する予定です。

◆資金配分に関する方針

- 持続的な成長に向けて、研究開発費・設備投資等を含む成長投資に軸足を置きつつ、安定的な配当と機動的な自己株式取得を進めてまいります。

上記の財務方針のもと、更なる株主価値向上を目指します